

内容

- キャリア教育で子どもたちが“ぐんぐん”成長しています!
- ますます進む教育改革
  - やりがい～「人づくり」の現場から～第2回
  - おでかけガイド
  - なるほど教育! おしえて広場Vol.5

学校 家庭 地域

# くりっぴ

学校を変える。教育が変わる。

平成18(2006)年12月10日発行 広島県教育委員会

見る

体験する

学ぶ

発見する

めざす

## キャリア教育で子どもたちがぐんぐん成長しています!

広島県では、子どもたちが将来、社会人・職業人として自立していくために必要な資質や能力を育むことをめざす「キャリア教育」を推進中! 今年度は、地域・産業界などの協力のもと、新たに中学校85校が5日間の職場体験を実施し、「子どもがずいぶん変わった、職員も刺激になった」(受け入れ企業)、「楽しい思いをした一方、つらい思いも体験して、家では教えても分からなかったことが身にしみたようです」(保護者)などの感想が寄せられています。「キャリア教育」の実践例や子どもたちの感想をご紹介します。

### 小学生の職場見学 (町たんけん・豊店)



お客様のことを大切に思って頑張ってお客さんを見て、置屋さんの仕事が好きなんだなと思いました。

福山市の新市小学校の3年生は、新市町のお店や工場についてグループで学習しながら、自ら体験し自ら行動する力を伸ばすために、職場見学を行いました。

### 中学生の職場体験 (給油所)



働くということは、つらいばかりではなく、お客さんにお礼を言うことができるとすごくうれしいことが分かりました。

安芸太田町の中学生は、将来、社会人・職業人として自立していくための力を身に付けることを目的に、7月3日～7日の5日間、町内32事業所で、職場体験を実施しました。

### 小・中・高校生が地域の祭りで交流 (どえりゃあ祭り)



地域のために役に立つ人になりたい!

庄原市西城地域の小・中・高校生は、地域を知り、地域を理解し、地域の課題を見出し、地域社会へ貢献する意識を身に付けるため、一緒に祭りに参加しました。

### 広島県 キャリア教育 推進フォーラム



児童生徒に勤労観、職業観を育むことをめざして、講演や意見発表、シンポジウムを開催しました。

立派な介護福祉士になりたい。

## 地域に根ざし、地域で活躍する職業人をめざして。「専門高校等における『日本版デュアルシステム』推進事業」

高等学校での専門教育と、企業などでの長期の実習とを組み合わせた人材育成システムの効果的な導入方法について、研究開発を行っています。

### 第3学年 科目「沼南デュアル」

企業で学んだ知識や技術  
企業から出される宿題

4月～7月に  
週1日

学校に  
おける学習

デュアル  
システム

各企業に  
おける実習

企業実習

第2学年 10日間の企業実習の実施

第1学年 5日間の企業実習の実施

### ～県立沼南高等学校・科目「沼南デュアル」での実習の感想～

#### 花の卸売り市場での実習

市場での実習も2年目ということで積極的に作業するという目標を立てた。前回の実習にはなかった新しい作業が入ってきたが、テキパキとできた。また、自分から進んで職場の方々とのコミュニケーションをとれるように心掛けたので、毎回楽しく実習できた。昨年より充実した実習になった。(園芸デザイン科の生徒)



#### 病院での実習

病棟での仕事は何度も経験していたので、次に何をすればいいのかわかっていた。自分で考えて、自主的に実習を行うことができた。「看護に大切なのは技術だけではなく、看護師さんたちの細やかな配慮、心づかいが患者の日常を支えている。」ということに気が付いた。(家政科の生徒)



事業所アンケートの結果、約8割の事業所が、「生徒は前回の実習を生かして取り組んでいる」と回答されました。

広島県は「ことばの教育」に取り組んでいます!

ことばを大切にすることで、確かな学力や豊かな心を育てます。

詳しくは中面へ



# ますます進む教育改革

学校での取り組みで、多くの成果が出ています！



## 知

### 確かな学力を身に付けるために

学力が身に付いているかを調査し、結果を踏まえて指導改善計画を立てるとともに、一人一人に応じたきめ細やかな授業づくりに取り組んでいます。

#### 「基礎・基本」定着状況調査

全公立小学校第5学年(国語・算数)、中学校第2学年(国語・数学・英語)

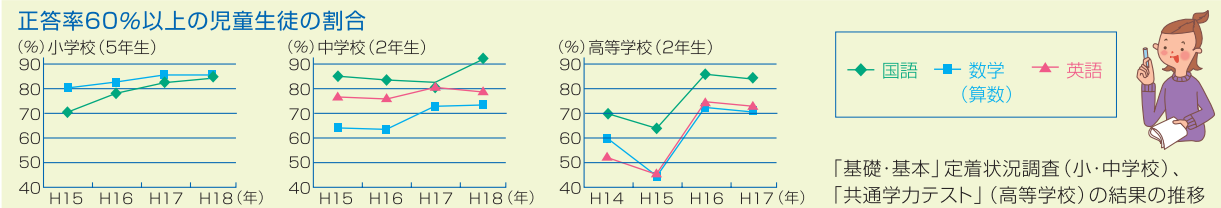
#### 「共通学力テスト」

全公立高等学校第1学年・第2学年

#### 学力の定着を分析

#### 成果

●基礎的・基本的な学習内容は、定着してきています。●「将来の夢や目標がかなう」と思っている児童が増えています。●「休日、家でまったく勉強をしない」生徒が減っています。



次の方に課題があります。(小・中学校の場合)

- 国語「文章の内容を読み取ること」
- 英語「文のきまりを理解して書くこと」
- 算数・数学「数量を比較し、変化や対応をとらえること」

#### 指導の改善計画を作成

各学校で調査結果から明らかになった課題の解決をめざして指導改善計画を作成し、指導方法の工夫などを行っています。

#### 実状に応じた指導の改善

##### 算数の力を付けるために

- 自分の考えを言葉、式、図などで表現する力の育成
- 基礎的な計算力の育成

#### 具体的な方策

- 学校では
- ノートに書いた自分の考えをもとに、話し合う活動を充実させる。
  - 長さや重さなどを測ったり比べたりするような体験的な活動を授業に取り入れる。
- 家庭では
- 学習の定着状況に応じて、家庭学習の内容と量を工夫する。
  - 家庭学習の時間の目標として(学年の数学×10分)を設定し、実施率80%をめざす。

\*廿日市市立平良小学校の取組の一部です。

## 高等学校の学力向上対策

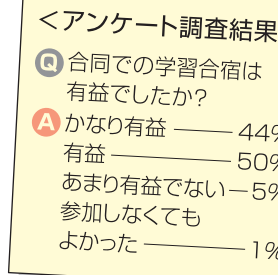
全県立高等学校において、共通学力テスト、学習合宿、大学教員による模擬授業などを実施し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、各学校の特色や生徒の実態に応じて、創意工夫を生かした学力向上対策を進めています。また、進学指導拠点校(5校)・重点校(15校)では「合同パワーアップ講座(合同学習合宿)」、「学習指導充実セミナー」など、先導的な取組みを進めており、その取組の一部をご紹介します。

## 県内初「合同パワーアップ講座」レポート

平成18年度、進学などをめざす県立高等学校の生徒が学校の枠を超えて参加する学習合宿が行われ、進学指導拠点校など22校から、計386人の生徒が参加。異なる学校の生徒がお互いに刺激を受けることで、さらに頑張ろうという意識が高まり、他校の生徒の優れた学習方法や学習態度を学ぶこともできました。



他校の生徒の学習に取り組む姿勢や学習方法を見て、苦手教科の克服方法が分かった。さっそく実践するぞ!



国語、数学、英語の講義風景。教員にとっても他校の指導方法から学ぶ機会になりました

\*合宿後の感想文より

## 徳

### 豊かな心を育むために

子どもたちに豊かな人間性や社会性を育むために道德教育の充実、生徒指導の充実、体験活動の推進に取り組んでいます。

#### 【道德教育】～心に響く道德授業で子どもたちの「心の元気」を育てます～

##### 道德教育推進リーダー養成プログラムの取組み (各市町から1人ずつ、計23人)

心に響く「道德の時間」の授業づくりのために模擬授業を実施

参加者が先生役、児童生徒役に分かれて模擬授業を実施。具体的な授業のイメージを持つことができる。児童生徒の立場に立った考えや心情を理解できる。「道德の時間」の授業づくりに効果的な研修です。

児童生徒の心に響く道德教育を推進するための実践研究を行う、文部科学省指定校の道德授業を参観。自らの取組みに生かしています。

#### 【生徒指導】～安心して通える学校づくりをめざして～

##### 不登校の未然防止などに取り組んでいます

###### 不登校対策実践指定校

不登校の未然防止と学校復帰を図るため、教員を配置し、次の取組みを行っています。

###### 【主な取組み】

- ① 保健室や別室登校などによる段階的な教室復帰支援
- ② 小・中学校の連携
- ③ 家庭との連携

###### 不登校児童生徒支援モデル事業

小学校(2校)中学校(18校)モデル地域:三原市、福山市、三次市

不登校の未然防止や不登校児童生徒の学校復帰に向けて、家庭訪問指導支援員による家庭訪問を行っています。

###### 青少年の自立支援事業

県立青少年教育施設で、年6回(2泊3日)実施

不登校児童生徒を対象に宿泊を伴う体験活動を実施し、再登校できるきっかけづくりを行っています。(保護者同伴を原則)保護者交流会、カウンセリング実施。

##### 心の悩みなどの相談に応じています

###### スクールカウンセラー

中学校(161校)高等学校(5校)に配置「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制を整備しています。

- ① 生徒・保護者への相談
- ② 教員に対し専門的な立場からの助言

###### 子どもと親の相談員

小学校(12地域30校)に配置経験豊富な相談員を配置し、子どもと親の相談をサポートするとともに、不登校等の未然防止・早期発見・早期対応などに努めています。

###### 心のふれあい相談室など

県立教育センターや教育事務所(福山、備北)に相談員を配置し、来所および電話相談を受け付けています。

## 体

### 健やかな体を育てるために

子どもたちに体力や運動能力を培い、運動が「好きになる、得意になる」ような取組みを行っています。

#### 学校での推進体制づくり

毎年、体力・運動能力調査を実施するとともに、小・中学校の体力づくり推進体制の充実に取り組んでいます。



小学校教育研究会における研修風景 スポーツフェスタでの新体力テストの計測風景

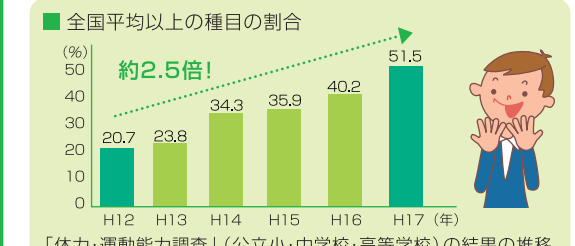
#### 体力向上実践事業

東広島市、安芸高田市では、文部科学省の「子どもの体力向上実践事業」の指定を受け、学校、家庭、地域が連携した取組みを進めています。



サタデー(外)で遊ぶDAY1(東広島市) ジャンプロープ大作戦(安芸高田市)

成果 広島県の子どもの体力は着実に向上しています。



- 課題
- 「反復横とび」「20mシャトルラン」など、日常的に身に付きにくい、身体を大きく動かして行う種目が全国平均を下回っている傾向にあります。
  - 十分な運動時間の確保と運動の実践、基本的な生活習慣の確立が必要です。

## いじめは、絶対に許されません!

いじめでお悩みの方は、「いじめダイヤル24」や各相談機関などへご相談ください。

相談する勇気を持ってください!お父さん、お母さん、先生、友達などに。広島県教育委員会でも、「いじめダイヤル24」などで、いじめについての相談を受け付けています。

●いじめの相談について いじめダイヤル24 ☎ 0824-20-1313  
電話録音:24時間対応 (月～金曜日 9時～16時、相談員による直接相談も受け付け)

●不登校やいじめの問題などについての相談機関のホームページ  
<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/iijime/madoguchi/index.html>

●いじめの問題についてのホームページ  
「いじめの問題の解決のために」  
<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/iijime/index.htm>

## 「食べる!遊ぶ!読む!」応援プロジェクト

広島県教育委員会では、「食・遊・読」をテーマに展開する地域活動を支援。地域を巻き込んで家庭へ呼び掛け、子どもたちの基本的な生活習慣づくりを推進しています。

●賛同する企業・団体数の拡大  
平成18年3月に24であったキャンペーン賛同企業・団体数が、89に拡大(平成18年11月1日現在)。広報紙へのロゴの掲載、ポスター掲示、会社見学の参加者へのキャンペーンチラシ配布など、さまざまな形で協力いただいています。

●サポート隊、アドバイザーの登録  
「食・遊・読」に関する地域活動を行う団体などを登録し、登録証とシンボルマークをサポート隊へ提供。活動成果をホームページで県民の皆さんへ広報しています。また専門的な助言をする「食・遊・読」アドバイザーも登録し、同ホームページでメッセージを発信しています。

●サポート隊/149団体が登録!(食55、遊94、読60 重複あり)  
●アドバイザー/11人が登録!(平成18年11月1日現在)

「食べる!遊ぶ!読む!」応援プロジェクトのホームページ  
<http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/ohen-project/index.htm>

#### ＜活動報告例＞

「野菜大好きグループ」では、地元の小学校へ農業体験希望者の公募を依頼。毎週土曜日の農作業に、小学校の呼び掛けで児童が参加し、「食」の大切さを楽しみながら学んでいます。

●「食・遊・読」実践交流会  
平成18年11月、12月に県内3会場で、サポート隊同士の地域活動者、子育てに携わっている人などが情報交換できる交流会を実施しました。

## やりがい

～「人づくり」の現場から～

#### 自然を見つめる「理科」への取組み

江田島市立大古小学校 教諭 織田晴美さん



理科教育の推進者として活躍し理論と実践力に定評。科学研究の指導で4年連続「広島県科学賞」特選受賞。平成18年4月エキスパート教員認定。

Q どんな思いで普段の授業に取り組んでいますか?  
A とにかく、自然の不思議に気付かせたい! 考えさせたい!と思ひ、予想したり観察や実験をしたりして、どうしてそうなるのか繰り返し考えさせるようにしています。そのために、子どもたちに実験の計画を立てさせたりもします。謎を解き明かす小さな科学者になってもらいたいですね。

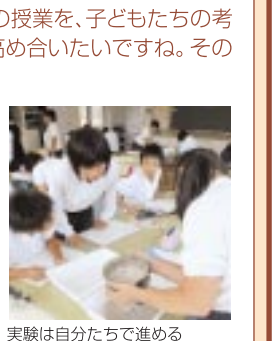
Q 科学研究で地域の自然を題材にする理由は?  
A 私自身、子どものころ毎日のように野山や海辺で遊びました。オタマジャクシやカニを捕まえて、木の葉や貝殻を拾って集めたり。自然には不思議なことがあふれていて、私の宝箱でした。今の子どもたちにも、ふるさとの自然っていいなと感じてほしいのです。

Q エキスパート教員として思うことは?  
A 研修会などで授業を見てもうら機会が増えました。授業力アップ講座での講師もその一つ。いろいろ先生方に、私の授業を、子どもたちの考えている姿を見せたい、意見交換しながら高めたいですね。そのためには今まで以上に授業の腕を磨かねば!

Q やりがいを感じるのとはどんなとき?  
A 授業をしていて、子どもたちの表情が変わる瞬間があります。真剣に考える中で見せる、「見つけた!」「分かった!」という一瞬です。嬉しいですね。「大きくなったら大古の人と結婚して、自分の子どもにも科学研究をさせる」と言った児童がいました。ああ、教師をやっていると良かったなと思えました(笑)。



6年生の理科の授業風景



実験は自分たちで進める

エキスパート教員とは、指導力や人間性などさまざまな観点で選考される「教育の達人」のこと。広島県が認証し、学校の活性化、教員全体の力量アップなどにつなげています。

## 「ことばの教育」の取組みが広がっています!

広島県では、平成17、18年度、「ことばの教育」パイロット校(31校)を指定し、新たに「言語技術」の指導方法を取り入れた指導や教材などの研究開発を行っています。現在、多くの学校で「言語技術」を取り入れた実践が行われています。

#### 「言語技術」の指導方法を全県に普及する取組み

##### パイロット校(中学校)の保護者の声から

- 「ことばの教育」に関する学校からの便りを毎月見せていただき、「ことばの時間」はとても大切に感じています。家庭でも意識していきたいと考えています。
- 子どもが単語で話しかけてきたときは、繰り返し聞いて文で話そうようにさせています。

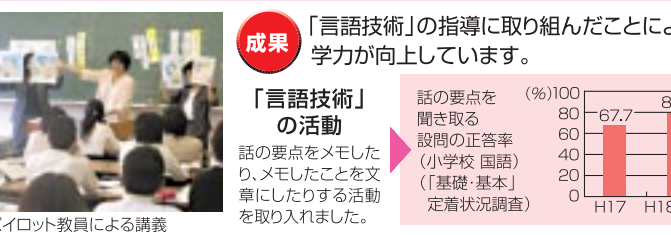


●広島県教育委員会では、「ことばの教育」を推進する教員を養成するために、「言語技術」の指導方法についての専門的な研修を行いました。

●市町教育委員会では、実技演習や模擬授業など「言語技術」の指導方法について基礎的な研修などを行っています。

●教員や保護者を対象に、優れた実践を紹介する実践発表会を開催しました。

日時:平成18年11月26日 場所:呉市文化ホール



パイロット教員による講義

## 教職員研修の充実に取り組んでいます

#### ＜主幹研修＞

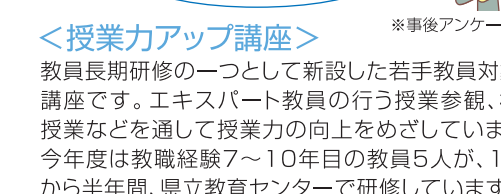
校長を中心とした学校運営体制の確立を図るために、主幹制度を導入し、平成18年度から主幹研修を実施しています。今年度、小・中・高等学校の主幹71人が研修を受講しました。主幹の役割についての講義、法規演習、主幹経験者による実践報告などにより、主幹の力量アップを図っています。

#### ＜校内研修支援事業＞

教職員研修の基盤である校内研修を活性化するため、平成18年度から、学校の課題などについて、計画的、効果的な校内研修を実施する学校に対して、外部講師を招へいる経費を助成しています。今年度は小学校6校、中学校6校、県立学校3校が助成を受けています。校内研修に力を入れる学校が増えており、募集枠に対して2倍の応募がありました。

主幹の役割が明確になり、法規や実務の具体的な内容が参考になった。主幹同士のネットワークを生かしたい。

\*事後アンケートより





# おでかけガイド

詳細については、各施設にご確認ください。

## 広島県立美術館

☎082(221)6246  
広島市中区上幟町2-22

### 特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」

■期間／12月5日(火)～平成19年1月14日(日)  
■内容／世界最大規模の絵本原画展。約50カ国から出品されたさまざまな絵本や原画などを紹介。



アリ・レザ・ゴールドマン  
「黒鉛筆と赤鉛筆」より

### 特別展「第53回日本伝統工芸展」

■期間／平成19年1月24日(水)～2月4日(日)  
■内容／優れた伝統を受け継いできた日本の工芸について、人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、日本を代表する作家の作品328点を紹介。



織織着物「Choral III」  
足立真実 日本工芸会新人賞

### 特別展「NHK日曜美術館30年展」

■期間／平成19年2月15日(木)～3月25日(日)  
■内容／過去30年の間に放送された番組の中から、特に印象に残る作品や作家を取り上げ、映像も交え約70点を紹介。



杉山寧「雅」(株)東京美術倶楽部蔵

## 広島県立歴史博物館

☎084(931)2513  
福山市西町2-4-1

### 作品展「草戸千軒を描こう」

■期日／12月15日(金)～27日(水)  
■内容／草戸千軒の町並みを題材とした子どもたちの写生大会「草戸千軒を描こう」の全作品を展示。

## 広島県立歴史民俗資料館

☎0824(66)2881  
三次市小田幸町122

### 展示会「県北の刀匠たち」

■期間／平成19年2月10日(土)～3月18日(日)  
■内容／室町時代後半に備前や周防などから刀工たちが移り住み、刀剣などの武器の製作が盛んだった県北地域。江戸時代前半期に一時、衰退するものの、幕末期には討幕運動が盛り上がる中で、県内でも有数の生産地として多くの刀匠が輩出され、現代へと継承されています。県北地域で製作された刀、脇差など約20口を展示。

## 頼山陽史跡資料館

☎082(542)7022  
広島市中区袋町5-15

### 広島頼家旧蔵資料名品展

■期間／開催中～平成19年1月28日(日)  
■内容／頼山陽など頼家ゆかりの品々のほか、頼家と交流のあった幕府老中・松平定信、水野忠邦の書などを展示・紹介。

### ひな人形と春の書画展Ⅷ

■期間／平成19年2月1日(木)～3月25日(日)  
■内容／近世以降のひな人形や全国各地の民芸びななどを展示・紹介。

## 縮景園

☎082(221)3620  
広島市中区上幟町2-11

### 大福茶会

■日時／平成19年1月21日(日)  
■内容／若水を汲んでお茶を点て、その年の無病息災を祈る茶会。大福茶(薄茶に梅干し・黒豆・山椒の実を入れたもの)は、縁起の良いお茶として、新年によく飲まれます。(上田宗箇流直心会)

### 梅見茶会

■日時／平成19年2月11日(日)  
■内容／春を告げる梅の花に合わせ、清風館に本席を、紅白の梅花が香る梅林に甘酒席を設けます。(上田宗箇流和風会)



## 広島県立福山少年自然の家

☎084(935)7166  
福山市金江町粟江619-2

### 「里山わくわく探検隊」

■開催日／平成19年2月24日(土)～25日(日)1泊2日  
■受付期間／平成19年1月11日(木)～25日(木)  
■対象／小学3年生～中学生  
■定員／35人

## 広島県立図書館

☎082(241)2299  
広島市中区千田町3丁目7-47  
広島県情報プラザ内

### 「小学生のための冬の図書館活用講座」

■日時／12月26日(火)14時～15時  
■内容／同館HP「来(ら)いぶらりネット@ひろしま」の子ども向け「調べ物リンク集」を使って、調べものの方法を学び、クイズなどに答えます。  
■対象／小学5・6年生 ■定員／8人(先着順)

### 資料展示「みんなが使える図書館に～県立図書館の障害者サービス」

■日時／開催中～平成19年1月28日(日)  
■内容／録音図書(CD・DAISY)や布絵本など視覚に障害のある方のための資料や拡大図書の作り方、要約筆記方法など障害者サービスに関する資料を展示。

### 資料展示「図録で見る美術館」

■日時／平成19年1月30日(火)～5月中旬  
■内容／県立図書館所蔵の美術館の図録を展示し、過去に広島にやってきた名画・名宝などの美術品を回顧します。

## 広島県立生涯学習センター

☎082(262)9129  
広島市東区光町2丁目1-14

### 子どもの居場所づくり実践交流会(第3回・生涯学習センター会場)

■開催日／平成19年1月28日(日)10時～16時  
■内容／10時 オープニング(ソーラン)、10時30分 講演「この蹟(つまず)きを!～問題を抱える青少年に寄り添う学習塾からの報告～(仮題)」(講師:フジゼミ代表・藤岡克義)、13時 実践発表・パネルディスカッション(問題を抱える青少年の立ち直り支援をしている諸団体・NPO)、16時 閉会

## スクールカウンセラー

## 募集

### 勤務日および勤務時間(原則)

1校当たり年間35週、  
1週当たり4～8時間

### 派遣先

中学校および高等学校

### 資格

- 臨床心理士、精神科医、大学教授など
- 大学院修士課程修了後 児童生徒対象の相談業務など1年以上の経験者
- 大学卒業後 児童生徒対象の相談業務など5年以上の経験者



### お問い合わせ

指導第三課 ☎ 082(513)5043

## 「拡大教科書相談窓口」の設置について

「拡大教科書」とは、検定済教科書の文章や図表などを拡大した教科書です。小・中学校の通常の学級に在籍する視覚に障害のある児童生徒も、障害の状態に応じて「拡大教科書」を使用できるようになっています。この場合、費用の負担はありません。広島県教育委員会は、特別支援教育室内に「拡大教科書相談窓口」を設置し、相談や情報提供を行っています。



### お問い合わせ

特別支援教育室 ☎ 082(513)4982

## 【特別支援教育充実事業について】

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、高機能自閉症などを含む障害のある幼児児童生徒に適切な指導や必要な支援を行う特別支援教育体制の整備を進めています。

### お問い合わせ

特別支援教育室 ☎ 082(513)4982

### <小・中学校などでは>

#### LD等の専門家巡回相談事業

大学教授、医師などの専門家24人を巡回相談員として委嘱。要請に応じて学校に出向き、LDなど障害のある幼児児童生徒の支援について具体的な助言を行っています。

#### 特別支援教育授業改善推進事業

研究指定校(小・中学校各1校)を指定し、障害児学級の教育課程の改善や、障害の状態などに応じた指導法の改善に取り組んでいます。

### <盲・ろう・養護学校では>

#### 特別支援教育授業改善推進事業

研究指定校(3校)を指定し、障害の状態などに応じた教育課程や指導法の改善に取り組んでいます。

#### 盲・ろう・養護学校就職指導充実事業

研究指定校(2校)を指定し、ジョブサポートティーチャーを配置して就業体験受け入れ先や求人企業の開拓を図るとともに、就職をめざした教育課程の編成など、就職指導体制の確立に向けた取り組みを進めています。



なるほど教育!

## おしえて広場

皆さんからの質問や素朴な疑問に、  
広島県教育委員会がお答えします。 [Vol.5]

<素朴な疑問・質問 大募集!>

本コーナーで聞いてみたい疑問・質問を、どんでん下記宛先へお寄せください。採用された方には、粗品を進呈します。

■応募方法 はがきに「あなたが聞いてみたいこと」、名前、住所、「くりっぶ」へのご意見・ご感想を書いて郵送してください。

\*個人情報保護法に基づき、個人情報の発注には使用しません。



子どもの安全を守るため、学校ではどのようなことをしているのですか?



県教育委員会、知事部局、警察本部が連携し、子どもの安全な環境づくりに向けプロジェクトチームを組織して取り組んでおり、県内の公立学校においては、次のような取り組みを行っています。

**防犯教室などの実施** 学校への不審者侵入時や通学時に危険な目に遭いそうになった場合などの対処方法について、教職員が研修や訓練を重ね、子どもが実践的に学べるよう防犯教室を実施しています。

**地域安全マップの作製** 子どもの危険予測・回避能力向上のため、子どもたち自らが、大人と一緒に地域の犯罪が起こりやすい場所を点検し、地図にまとめる「地域安全マップ」の作製に取り組んでいます。

**スクールガード・リーダーの派遣** スクールガード・リーダー(防犯の専門家である警察官のOBの方など)に協力をいただき、学校や通学路の危険箇所の確認・その対策や、市町で学校安全ボランティア「スクールガード」養成講習会などを実施しています。

引き続き、学校と家庭、地域との連携を図りながら、子どもの安全確保に取り組んでいきます。皆さまもご協力いただきますようお願いいたします。

ご意見などは、広島県政もみじファクスや郵送でも受け付けています。

広島県教育委員会教育長ホームページ <http://www.pref.hiroshima.jp/kyouiku/hotline/>

県政もみじファクス FAX 082(224)1122 ボックス番号 80034

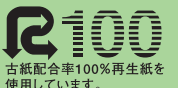
郵送 〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会総務課教育政策室 宛

Eメール [kyoukouhou@pref.hiroshima.jp](mailto:kyoukouhou@pref.hiroshima.jp)

(「くりっぶ」または「おしえて広場」と明記してください。)

<編集・発行> 広島県教育委員会総務課教育政策室  
〒730-8514 広島市中区基町9番42号  
☎082(513)4934

●点字版の「くりっぶ」を発行しています  
ので、希望される方はご連絡ください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。